

# 連携いawaii

令和4年6月

第35号

岩手県立磐井病院

## 地域がん治療の充実へ

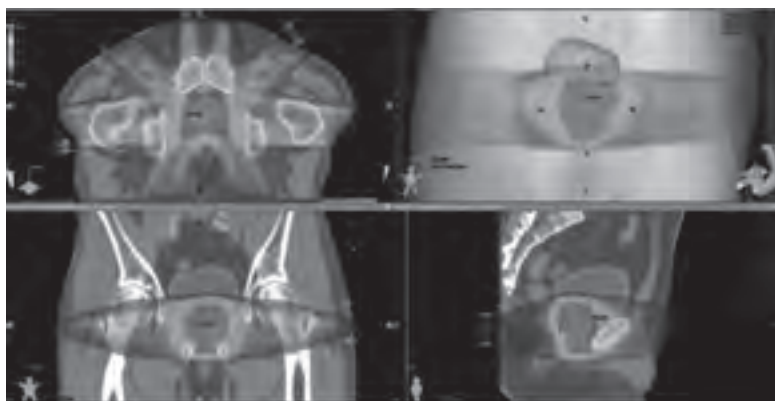
当院は地域のがん拠点病院として、専門的ながん治療の提供や相談支援を行っており、今年2月に新たな放射線治療装置（リニアック）へ更新しました。

最新の制御機能と高連携システムにより、これまで以上に精度の高い放射線治療をより多くの患者さんに提供できるようになりました。例えば、放射線の照射範囲をより細かく調整できたり、放射線の強弱を調整したりして、正常な組織の被ばくを最小限に抑えることができます。また、治療時には、より正確な位置合わせができるレーザースキャンを用いる先進の照合システムも岩手県内初導入しました。



## 最新のリニアック導入

【写真】新リニアック『Vital Beam』と、右側から  
阿部科長、塩谷放射線技師、千葉放射線技師



新装された放射線治療室は、木目調の内装、天窓調の照明を採用して、心地よい開放感のある空間でリラックスして治療を受けられます。放射線治療は、がんの三大療法（手術治療、薬物治療、放射線治療）の中では、患者さんのQOLを最も妨げない治療法です。がんの種類やステージ、患者の目的に合わせた柔軟な治療ができ、先進的かつ安全、安心な医療を提供していきます。

放射線治療科長 阿部 恵子

### ＜岩手県立磐井病院 理念＞

地域と連動し、患者さんにやさしく、質の高い安全な医療を提供します

### ＜岩手県立磐井病院 基本方針＞

- ①十分な説明と同意のもと、患者さん中心の医療を提供します。
- ②常に最新の医療を求め、高度でかつ専門的な医療を提供します。
- ③患者さんの安全を最優先としたチーム医療を提供します。
- ④地域医療と連動し、患者さんの健康増進、救急医療の充実に努めます。
- ⑤豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人の共育を行いながら育成します。
- ⑥職員一人一人が自覚を持って健全な病院経営に努めます。
- ⑦新しいことはデータに従って理論的に行ない、必ず施行後に検証を行ないます。

### Contents

- 最新リニアック（放射線科）・・・1
- 新任医師紹介・・・2.3
- （両磐地区）  
『地域連携パスの取り組み』  
について・・・4

# 2022 年度新任医師の紹介

今年度から新たに当院の一員として加わった新任医師の紹介です。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

## 新任医師

- ① 役職名
- ② 出身大学
- ③ 専門分野
- ④ ひとこと



森谷 邦彦

- ① 小児科医長
- ② 山形大学
- ③ 小児科一般  
小児血液免疫・腫瘍
- ④ 地域医療に貢献できるよう  
こどもたちのためにがんばります。



佐藤 紀夫

- ① 小児科医長
- ② 東北大学
- ③ 小児科一般
- ④ 2年ぶりに当院に戻ってまいりました。地域の子どもの健康と保護者のみなさんの安心の一助となれるよう頑張ります。



阿部 出

- ① 消化器内科医長
- ② 秋田大学/東北大学大学院
- ③ 消化器内科（下部消化管領域）
- ④ 炎症性腸疾患や大腸内視鏡が専門です。地域の為にがんばります。



河野 富岳

- ① 救急科医長
- ② 山形大学
- ③ 救急
- ④ 一関の医療のお役に立てるよう頑張ります。



曾根 至

- ① 形成外科医長
- ② 山形大学
- ③ 形成外科一般
- ④ 磐井地域の医療に貢献できるように頑張ります。



加藤 穂乃

- ① 皮膚科医長
- ② 岩手医科大学
- ③ 皮膚一般
- ④ 分かりやすい説明と丁寧な診察を心がけています。よろしくお願いします。



六本木 啓

- ① 循環器内科医長
- ② 岩手医科大学
- ③ 循環器内科
- ④ 3年振りに一関に帰って参りました。県南地域の医療に少しでも貢献できるよう、努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



小城 繁明

- ① 整形外科医長
- ② 岩手医科大学
- ③ 脊椎
- ④ バイク・マラソンが趣味です。  
（が、子育てで今はできてません）  
磐井病院そして一関市に早く馴染めればと思います。



## 千田 康之

- ① 麻酔科医長
- ② 獨協医科大学
- ③ 急性期医療  
(主に成人の)
- ④ 2005 年に一関一高を卒業し、このたび 17 年ぶりに一関に戻ってきました。これまで救命救急センターで勤務し救急、麻酔、集中治療の 3 領域に研鑽を積んできた経験を、磐井病院では麻酔科医として活かし、地域に貢献していきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。



## 佐藤 光

- ① 麻酔科医長
- ② 奥羽大学
- ③ 歯科麻酔
- ④ 1 年間という短い研修期間ですが、よろしくお願い致します。



## 金森 啓太

- ① 小児科医師
- ② 秋田大学
- ③ 小児神経内科、小児一般
- ④ 岩手県北上市出身です。大学と初期研修を秋田県で送り、その後 6 年間は東京の小児専門病院で小児科・小児神経内科として従事しました。医師 9 年目にして、いよいよ地元岩手県の医療に関われることにワクワクしています。岩手の医療人としてはルーキーですので、ご指導よろしくお願い致します。



## 佐藤 馨

- ① 消化器内科医師
- ② 東北大学
- ③ 消化器内科
- ④ よろしくお願いします。



## 田村 泉

- ① 整形外科医師
- ② 日本大学
- ③ 整形外科
- ④ 整形外科専攻医 1 年目です。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



## 荻野 隆央

- ① 外科医師
- ② 東北大学
- ③ 外科
- ④ 初期研修より引き続き磐井病院で働かせていただくこととなりました。より良い医療を目指して精進致します。



## 小野 貴寛

- ① 産婦人科医師
- ② 東北大学
- ③ 産婦人科
- ④ 地域の医療に貢献できるように頑張ります。





## (両磐地区)「地域連携パスの取り組みについて」

磐井病院では以前より脳卒中、大腿骨頸部骨折について地域連携パスを使用することで、地域での医療機関の役割分担を行い、情報共有をすることで患者を支えて行く方針だった。しかし、脳卒中地域連携パスに関しては、対象となる患者基準が限定的で、書類作業が多く年間5例以下の年が続いていた。

今年度より、両磐地区の脳卒中地域連携パスおよび大腿骨頸部骨折地域連携パスの症例数を増やすため、大幅改定を行った。

### ・脳卒中地域連携パス

これまでは明確な基準が不足しており「自宅復帰」が基準とされていたため、基準の範囲が非常に限られ、該当する場合も急性期医療機関で自宅退院する患者さんがほとんどだったため、適応基準を「自宅または施設など、療養先が決定できる、リハビリの効果が期待できる」とし範囲を広げるとともに、新たに除外基準「入院中に状態の悪化がある、重篤な合併症がある、リハビリの効果が期待できない」と設けることによって状態の悪い患者さんは地域連携パスから除外する様にした。

診療情報提供書とは別に多職種で記載する書式を簡略化し、書類作業を削減し見やすくなるよう工夫した。

### ・大腿骨頸部骨折地域連携パス

令和4年度の診療報酬改定にて二次性骨折予防継続管理料が新設され、当院は急性期医療機関として当該管理料1を算定している。

今回改定した大腿骨頸部骨折地域連携パスは当院 整形外科長主導のもと作成しており、地域連携パス用紙にある投薬・検査を実施いただくことにより当該管理料2または3の算定が可能\*となる。

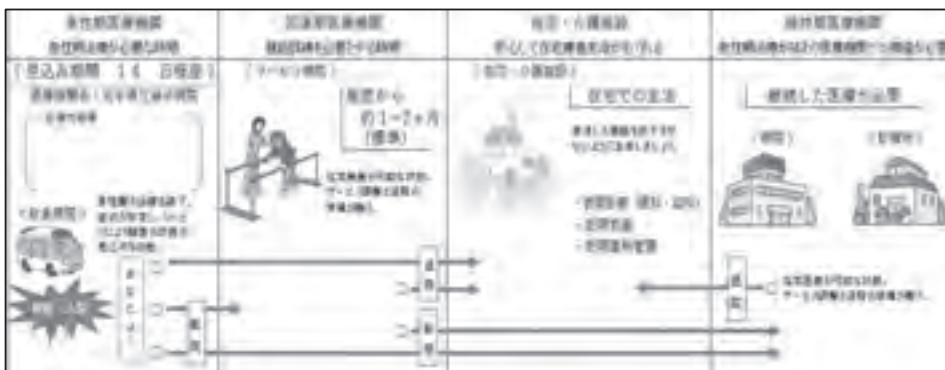
また、大腿骨頸部骨折地域連携パスは診療情報提供書としても取り扱い、回復期医療機関を退院後に骨粗鬆症治療目的に当院整形外科を受診する際には紹介状不要となった。

\*算定に当たっては厚労省の定める施設基準を満たす必要があります。

### ～磐井病院地域連携室からのお願い～

かかりつけ医の先生方につきましても、回復期病院を退院した患者さんが受診されましたら、持参する大腿骨頸部骨折地域連携パス No.3 に骨粗鬆症治療欄に記載いただき当院へFAXにてご連絡いただきますようお願いいたします。

高齢者の大腿骨頸部骨折は骨粗鬆症による脆弱性骨折で、再骨折予防のため骨粗鬆症治療が必須です。今回の改訂で骨折手術後の骨粗鬆症治療導入継続に対して加算がつくことになりました。当院で導入した治療を継続していただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。 整形外科長 中村 聡



### 【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17

電話 (0191)-23-3452

連携室直通 Fax (0191)-21-3990

連携医療機関の皆様と共に歩む

# 連携いいわい

令和4年9月

第36号

岩手県立磐井病院

## どこでも医療講座

昨今のコロナ禍で令和2年から休止していましたが、『どこでも医療講座』を、2年振りに再開いたしました。市民センター等のインターネット環境のある会場を使用していただき、Zoomを通じて開催をすることが出来ました。

現在は原則リモートでの開催をお願いしている状況ではございますが、参加者の皆様からは

- ・「久しぶりに磐井病院の人にお話を聞けて良かった」
  - ・「来られなかった人に今日のお話を伝えてあげたい」
- など、好評をいただきました。



↑松澤看護師による手洗い講座の様子（第7波が広がる前の落ちついた時期に現地開催したものになります）

←緩和医療科 平野医師による緩和ケアのすすめ講座の様子



どこでも医療講座とは、地域の方々の希望に応じて当院の職員を地域で開催される講演会の講師として派遣し、講座を開催するものです。

講演時間は1時間程度とし講演料や派遣料はいただいておりません。

講座を通じてご自身の健康や医療のことをより多く知っていただきたいと考えております。

どこでも医療講座のお申し込みは、当院ホームページ下部『病院職員が出張します「どこでも医療講座」』から専用ページにて申込用紙をダウンロードしていただき、地域連携室 FAX 0191-23-3990 までご連絡ください。

または、当院地域連携室へ直接お電話にてお問い合わせください。

地域連携室 主事 福島 拓哉

### <岩手県立磐井病院 理念>

地域と連動し、患者さんにやさしく、質の高い安全な医療を提供します

### <岩手県立磐井病院 基本方針>

- ①十分な説明と同意のもと、患者さん中心の医療を提供します。
- ②常に最新の医療を求め、高度でかつ専門的な医療を提供します。
- ③患者さんの安全を最優先としたチーム医療を提供します。
- ④地域医療と連動し、患者さんの健康増進、救急医療の充実に努めます。
- ⑤豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人の共育を行いながら育成します。
- ⑥職員一人一人が自覚を持って健全な病院経営に努めます。
- ⑦新しいことはデータに従って理論的に行ない、必ず施行後に検証を行ないます。

### Contents

- どこでも医療講座・・・1
- 術後疼痛管理について・・・2
- 研修医紹介・・・3
- 耳鼻いんこう科紹介・・・4
- 小児科予約制のお知らせ・・・4





## 術後疼痛管理について

岩手県立磐井病院 手術看護認定看護師 門間 りえ

『手術＝痛い』皆さん連想すると思います。手術後の痛みは、痛み自体のつらさに加えさまざまな合併症にもつながるため、痛みを最小限にして患者さんが早期に社会復帰できることを目標に適切な術後疼痛管理を行うことが大切です。手術後の痛みを取り除く主な方法をご紹介します。

### 硬膜外麻酔

(硬膜外腔に細いカテーテルを留置し、局所麻酔薬やオピオイドを持続投与する方法)  
主に開腹手術や開胸手術の際に全身麻酔に併用して用いられます。  
手術中の痛みをコントロールするだけでなく、背中に入れたカテーテルから鎮痛薬を投与することで術後も持続的に鎮痛効果を得ることができます。



### IV-PCA(静脈ルートを用いて鎮痛剤を投与する方法)

点滴から持続的に鎮痛薬を投与します。痛いときにボタンを押すと決められた安全量の鎮痛薬が注入され、患者さん自身が疼痛をコントロールすることができます。



### その他

○鎮痛薬(オピオイド・NSAIDs・アセトアミノフェン等)の筋肉注射、静脈注射、皮下注射、座薬による投与

※NSAIDsとは「エヌセイイズ」と読み(Nonsteroidal anti-inflammatory drugs)の略称です。

非ステロイド系消炎鎮痛薬のことで、痛みを和らげたり炎症を抑えたりするために使用されるお薬で、薬局でもお買い求めいただけます。

#### ○神経ブロック

抗凝固療法・抗血栓療法の中断リスクが高く、硬膜外麻酔を行えない場合や四肢の手術で行います。

体表痛を抑える効果があり、施設によってはカテーテルを留置し持続的な鎮痛を行います。



「術後疼痛管理チーム加算(A242-2)」が、令和4年度の診療報酬改定で新設されました。

急性期病院で、麻酔科医師が中心となった多職種で構成されたチームで全身麻酔後の患者さんへ質の高い術後疼痛管理を実施した場合に算定対象となります。

磐井病院では現在術後疼痛管理チームを結成し、より良質な疼痛管理の実現に向けて準備しております。  
痛みから解放されることで、少しでも手術への恐怖感や不安を取り除けるよう、麻酔科医師と共に手術を受ける患者さんを支援していきたいと思います。





よろしくお願いします



## 研修医

今年度は計8名の研修医が加わりました。  
2年間よろしくお願いします。

①出身大学  
②ひとこと



### 杉 悠里

- ① 秋田大学
- ② 精一杯努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



### 千田 春佳

- ① 東北大学
- ② 一関で働くことができ、嬉しいです。患者さんのために、一生懸命がんばります。



### 森戸 文香

- ① 順天堂大学
- ② 地元東北の医療に貢献できるよう、精一杯励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



### 中島 優香

- ① 東北大学
- ② よりよい医療を提供できるよう、日々精進して参ります。よろしくお願いいたします。



### 太田 樹

- ① 東北大学
- ② 新しく採用されました研修医 1 年目の太田です。出身は一関市です。毎日勉強して精進できるよう頑張るので、よろしくお願いいたします。



### 古川 太志

- ① 岩手医科大学
- ② 患者さんの気持ちや背景など、考慮できるように頑張ります。



### ジャヤデワン

#### アラビンダ インディカ

- ① セグド大学
- ② 磐井で新たなキャリアがスタートし、有意義な2年間になるよう頑張ります。



### 五十峯 吉紀

- ① 東北医科薬科大学
- ② いち早く即戦力として一関の医療に貢献できるよう精進してまいります。至らない点も多々あるかと存じますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 耳鼻いんこう科の紹介



磐井病院耳鼻咽喉科の吉田拓矢と申します。

常勤医師の交代に伴い、あらためて現在の当科診療体制についてご案内申し上げます。

地域の耳鼻咽喉科診療を支えられるように、尽力してまいりますので、何卒皆様のお力添えを頂ければ、幸甚です。

予約は紹介センターを通して取得いただく仕組みです。

外来診療は毎日行なっていますが、手術日(月・水・金)は、予約数によっては調整させていただく場合がございますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

急を要する病態の場合は、いつでもお受け致しますので、直接お電話にて、ご相談いただければと存じます。

### 常勤医師

吉田拓矢

小泉祥太郎

石垣賢人



### 非常勤医師(月2~4回)

耳科診療・手術応援 池田 怜吉(岩手医科大)  
頭頸部癌診療 東 賢二郎(東北大学)

## 主な診療対象

- ・耳 中耳炎、外耳炎、難聴、耳鳴、補聴器の相談
- ・鼻 アレルギー性鼻炎(重症例には、舌下免疫療法や手術も施行します)  
急性/慢性副鼻腔炎、鼻ポリープ、鼻出血、嗅覚障害
- ・口腔・咽喉頭 嚥下障害、急性/慢性咽喉頭炎、扁桃炎、喉頭蓋炎、口内炎、声帯ポリープ、頸部膿瘍
- ・その他 睡眠時無呼吸症候群(必要に応じて外科的介入も行います)  
めまい、顔面神経麻痺、頭頸部腫瘍

## 県立磐井病院の小児科は予約制になりました。



当院小児科の役割として、検査や入院加療が必要な患者さんに対する二次診療や慢性疾患の患者さんへの対応が優先されること、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱やかぜ症状等の患者さんの診察にも以前の数倍もの時間がかかるようになっていくことから、外来診療について、

令和4年8月1日(月)より予約制とさせていただきます。

近隣の先生方には大変ご不便をおかけしますが、当院の状況をご賢察のうえご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 岩手県立磐井病院

### 【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17  
電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691  
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

### 【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室  
病院ホームページ:<http://www.iwai-hp.com>  
公式 Facebook:<http://www.facebook.com/iwaihp>



連携医療機関の皆様と共に歩む

# 連携いいわい

令和4年12月

第37号

岩手県立磐井病院

## 第14回緩和ケア医療従事者研修会開催



当院は「地域がん診療連携拠点病院」に指定されており、がん診療に携わる医師・歯科医師・看護師等の医療従事者を対象とした研修会を毎年開催しています。

開始当初は、医師のみを対象としたものでしたが、平成25年度（第6回）から、厚労省の方針により医師以外の医療従事者も受講できるようになっています。

今年度は10月8日（土）に集合研修を開催し、当院医師1名・研修医6名（うち他院所属で当院研修中2名）・看護師6名の合計13名が受講。受講者は事前に、麻薬の処方や緩和ケアの考え方についてなどのe-learningを受講し、集合研修に臨みました。

当日は、e-learningの復習に加え、参加者が医師役や患者さん役となって緩和ケアにおけるコミュニケーションについて学ぶロールプレイ、患者さんの身体的苦痛や精神的苦痛についてグループで考えるワークショップなど盛り沢山の内容となっていました。受講者の皆さんからは、「緩和ケアについて積極的に学べる良い機会となり、有意義な研修となった」と好評をいただきました。

次年度以降も引き続き開催予定ですので、多数のご参加をお待ちしております。

### ＜岩手県立磐井病院 理念＞

地域と連動し、患者さんにやさしく、質の高い安全な医療を提供します

### ＜岩手県立磐井病院 基本方針＞

- ①十分な説明と同意のもと、患者さん中心の医療を提供します。
- ②常に最新の医療を求め、高度でかつ専門的な医療を提供します。
- ③患者さんの安全を最優先としたチーム医療を提供します。
- ④地域医療と連動し、患者さんの健康増進、救急医療の充実に努めます。
- ⑤豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人の共育を行いながら育成します。
- ⑥職員一人一人が自覚を持って健全な病院経営に努めます。
- ⑦新しいことはデータに従って理論的に行ない、必ず施行後に検証を行ないます。

### Contents

- 第14回緩和ケア研修会・・・1
- 早産・低出生体重児の  
母乳育児支援・・・2
- 患者支援センター（スタッフ紹介・  
磐井病院からのお願い）・・・3
- がん教育講演会・・・4
- 年末年始のお知らせ・・・4



# 早産・低出生体重児の母乳育児支援

新生児集中ケア認定看護師 四垂真弓



2013年より新生児集中ケア認定看護師として、産科・小児科・新生児科病棟で勤務しています。私の役割は、生まれてきた赤ちゃんが新しい環境に適応していけるよう、急激な変化を予測し、成長発達の促進や親子関係を築けるための看護ケアを提供しています。また、言葉で表現できない赤ちゃんの小さなサインを読み取り、一人一人に合わせた看護を提供できるよう、スタッフの知識や技術の習得に向けた支援を行っています。そして、御両親が自宅で自信をもって育児ができるように、さまざまな医療スタッフと一緒にお手伝いをさせて頂いております。今回はその中で「早産・低出生体重児の母乳育児」についてお話させていただきます。

当院は2019年に「赤ちゃんにやさしい病院（BFH）」に認定され、妊娠期から産後まで継続的に母乳育児支援を実施しています。私はその中で、助産師・認定看護師として早産・低出生体重の赤ちゃんの母乳育児に積極的に取り組んでいます。特に早産・低出生体重の赤ちゃんにとって、母乳は栄養学的に蛋白質・ミネラル・免疫物質などが多く含まれ、消化・吸収に優れています。それだけではなく、お母さんと赤ちゃんの愛着形成にもつながります。そこで、当院で実施している母乳分泌を促進するケアを御紹介します。



- ① 自然分娩・帝王切開で生まれた後、**早期に母子接触**をしています（原則、医師の許可がある場合）

赤ちゃんに触れることで母乳分泌ホルモンが増加、赤ちゃんはお母さんのにおいで安心します。

- ② 母子分離を可能な限り最小限にしています。出生後に状態が安定したら、モニターを装着し母子同室を行い、**お母さんのそばでいられる環境づくり**をしています。



- ③ 治療を要する赤ちゃんが母子分離した場合、**早期から搾乳・授乳支援**をしています。特に初乳は出生後の最初の数日間にお母さんが提供する最初の水分であり、必須の免疫学的および発達の成分が豊富です。初乳が分泌されたら、早めに母乳を哺乳できるようにしています。また、少量でもシリンジや綿棒で口の中に塗布することを実施しています。早く、小さく生まれても、できるだけ母子の触れ合いを進めることは大切なことです。  
\*経口で哺乳できなくても、栄養のチューブから母乳を摂取できるようにしています。



- ④ 入院しているお母さんの**24時間面会を実施**しています。



- ⑤ 院外から搬送された赤ちゃんのお母さんにも母乳栄養の支援を実施しています。

BFH施設として親と子の絆が強められるよう「母子の自然な姿、ありのままの姿」を大切にしています。

最後に、どこでも医療講座などの中で「母乳育児」「子どもの皮膚ケアとアレルギー」「子どもの応急処置」などお話させて頂く活動をしています。オンライン等でも開催が可能ですので、いつでも当院の地域連携室に御相談下さい。

# 患者支援センター スタッフ紹介



患者さんが安心してスムーズに  
入退院出来るよう支援します

**入院支援**






宮尾 めぐみ  
miyoshi megumi  
佐倉 梨子  
sakurai rie  
高橋 志穂子  
takahashi shizuko  
田中 愛穂  
tanaka akiko



患者さん、ご家族が安心して  
退院出来るよう支援します

**退院支援**






伊藤 由美子  
ito yoko  
黒木 遥代  
kuroki yoko  
吉本 礼子  
yoshimoto reiko  
田中 愛穂  
tanaka akiko

**医療福祉相談室 (MSW)**







田中 愛穂  
tanaka akiko  
佐倉 梨子  
sakurai rie  
高橋 志穂子  
takahashi shizuko  
宮尾 めぐみ  
miyoshi megumi  
田中 愛穂  
tanaka akiko

医療福祉制度の活用、生活上の困り  
ごとなどについて支援いたします

**地域連携室**






田中 愛穂  
tanaka akiko  
佐倉 梨子  
sakurai rie  
高橋 志穂子  
takahashi shizuko  
宮尾 めぐみ  
miyoshi megumi  
田中 愛穂  
tanaka akiko

当院と、他院、他施設との  
連携窓口を務めます

## 介護支援専門員との連携（磐井病院からのお願い）

### 診療情報提供書・訪問看護指示書について

#### 【入院中の依頼】

①訪問看護の利用、②訪問・通所リハビリテーションの利用、③施設入所にかかわる診療情報提供について、医師が必要と判断した場合、入院中に医師に依頼し、お渡しする事ができます。

#### 【通院中(退院後)の依頼と書類受け取りについて】

・当院通院中に①訪問看護の利用、②訪問・通所リハビリテーションの利用、③施設入所にかかわる診療情報提供を希望された場合は、外来受診時に患者さん・ご家族から直接医師へ相談していただき、指示や書類の記載可否について確認の上、各外来受付窓口へ文書受付し、依頼して下さい。

・患者さん・ご家族がうまく伝えられない場合には、患者さんの同意を得て、診察に同席いただくことをおすすめしております。

・次の受診までの期間が長く、医師と相談できない場合には『担当医あての依頼文書』を作成していただき、各外来受付窓口で医療クランク・受付職員に説明してご依頼下さい。

その後は、後日医師が依頼文書を確認のうえ必要であるかを判断して作成することになります。作成できない場合は、別途お知らせします。

・『担当医あての依頼文書』の様式は指定しておりませんので、任意の様式でかまいません。

・緊急性が高い場合には、患者支援センター(医療福祉相談室)又は各外来へご相談下さい。

・書類の受け取りについては、原則、文書受付票の控えをお持ちいただき、お支払いの上でお渡しすることとなっております。



# がんの教育講演会



県内のがん診療連携拠点病院と県教育委員会が、厚生労働省の進めるがん教育・普及啓発の一環として、高等学校を対象とした「がんの教育講演会」を行っております。今回は緩和医療科 平野医師が 9 月 28 日に大東高校 3 年生を対象に講演をして参りました。がんの仕組みや寿命の話、生活習慣の改善やがん検診の大切さを説き、最後に「がん」に対して、漠然と“怖い病気”“死ぬ病気”というイメージはなかったでしょうか？確かに、簡単な病気ではありません。治療方法は日々進歩しています。また、早期に見つけることで、治ることもあります。世の中には、がんと闘っている人々がたくさんいます。皆さんが、その人々への支えの一部になることができるかもしれません」とまとめました。

## 年末年始の診療体制について

外来診療(全科)を休診し、日当直医師による救急診療体制となります。  
救急のご紹介の際はご連絡をお願いいたします。

TEL:0191-23-3452(代表)

**12月29日(木)**

**12月30日(金)**

**12月31日(土)**

**1月 1日(日)**

**1月 2日(月)**

**1月 3日(火)**

**外来休診  
救急診療体制**



## 岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17  
電話 (0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691  
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室  
病院ホームページ:<http://www.iwai-hp.com>  
公式 Facebook:<http://www.facebook.com/iwaihp>

連携医療機関の皆様と共に歩む

# 連携いいわい

令和5年3月

第38号

岩手県立磐井病院

## 一関在宅緩和ケア支援ネットワーク講演会



毎年恒例となりました、一関在宅緩和ケア支援ネットワーク（以下、IZAK）主催の特別講演会が、令和5年2月21日（火）に開催されました。今回は一関市藤沢町にある時宗 不退山 長徳寺のご住職であり臨床宗教師として活動される、渋谷真之さんをお招きしてご講演を頂きました。渋谷さんは、海外の病院での活動経験を活かし、岩手県で唯一の臨床宗教師として、一関市に限らず岩手県南から宮城県北まで幅広く活動されております。渋谷さんには「患者さんが話しているのは私（臨床宗教師）ではなくその後ろにいる信仰対象、無宗教の方はその人なりの信念。患者さんの心の拠り所を尊重しながら寄り添っています」とスピリチュアルヘルスの意味や可能性についてお話いただきました。また、「臨床宗教師は、依頼される病院によって一切宗教感を出さないでほしいと言われたり、逆にお坊さん感を出していいと言われたり様々です」と多神教とも無宗教とも言われる日本の臨床宗教師ならではのお話しをお伺いすることもできました。4月には一関市に岩手県で2人目の臨床宗教師が誕生する予定とのことで、より一層のご活躍が期待されております。

IZAK とは？・・・がんを患っていて、最後の時を自宅で迎えたいと希望される方やご家族の最期を、自宅で看取りたいと考えておられる方々を支援するために結成されたネットワーク組織です。一関地域（岩手県）の複数の医療機関や複数の職種（例えば、調剤薬局・訪問看護ステーション・ケアマネジャー・ホームヘルパーなど）が協力し合い、安心して自宅での療養が続けられるよう、お手伝いをする在宅緩和ケア支援のネットワークです。新規会員も募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

一関在宅緩和ケア支援ネットワーク（IZAK：アイザック）事務局

一関市狐禅寺字大平17番地

（岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室内）

電話：0191-23-3452 FAX：0191-21-3990



### ＜岩手県立磐井病院 理念＞

地域と連動し、患者さんにやさしく、質の高い安全な医療を提供します

### ＜岩手県立磐井病院 基本方針＞

- ①十分な説明と同意のもと、患者さん中心の医療を提供します。
- ②常に最新の医療を求め、高度でかつ専門的な医療を提供します。
- ③患者さんの安全を最優先としたチーム医療を提供します。
- ④地域医療と連動し、患者さんの健康増進、救急医療の充実に努めます。
- ⑤豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人の共育を行いながら育成します。
- ⑥職員一人一人が自覚を持って健全な病院経営に努めます。
- ⑦新しいことはデータに従って理論的に行ない、必ず施行後に検証を行います。

### Contents

- 一関在宅緩和ケア支援ネットワーク講演会・・・1
- 認知症ケア5つのポイント・・・2
- 研修を終えて・・・3
- 医療福祉相談のご案内・・・4
- 患者紹介について・・・4



# 認知症ケア 5つのポイント

認知症看護認定看護師 石川 秀輝



2022年に認知症看護認定看護師を取得し、院内でオレンジサポートチームとして活動しております。

認知症高齢者は、2025年に約700万人（65歳以上の高齢者の約5人に1人）に達することが見込まれており、今や認知症は、誰もが関わる可能性のある身近な病気です。

認知症の患者さんのケアを行う際は、本人の力を引き出し、暮らしを支える関わり方を知っておく必要があります。それには、患者さんが安心できる環境の作り方、見当識を意識した接し方、共感することなどが大切になります。5つのポイントに絞り、紹介したいと思います。

## 1. 患者さんの暮らしを意識し、なじみやすい環境を作る

急激な環境の変化がストレスとなり、入院後は一時的に混乱状態に陥り、BPSDやせん妄を起こすことがあります。

普段、家で使っている湯のみや、家族の写真など、暮らしを思わせるものを置くと落ち着きやすくなります。さらに、カレンダーや今がいつかを感じられる季節のものを置き、見当識を刺激することも大切です。



## 2. 自己紹介とリアリティ・オリエンテーションは積極的に

記憶障害により名前を覚えられず、なじみの関係になるまでは常に初対面となります。また、見当識障害により、過去・現在・未来という時間の流れがつながっていません。

「こんにちは、〇〇といいます。△△さんでいらっしゃいますか？」とその都度、自己紹介をしましょう。「ごはんですよ」と伝えるだけでなく、「朝ごはんの時間ですので、お手洗いにいきませんか？」と今がいつで、何をするのかをセットで伝えていきましょう。



## 3. 共感することを恐れない

病気を治すという患者役割を認識できないため、病院にいる意味が分からない状態にあります。その結果、家に帰ろうとしたり、歩き回ったりします。

まずは、話を聞き「今こんな気持ちなんですね。」と気持ちを代弁しましょう。その後、「帰りたい」という思いから離れるような話題を振り、落ち着くまで話を聞きましょう。



## 4. 患者さんが自分で決めることを大切にする

自分で決める機会が少なくなることは、「何もできない」、「自分らしくいられない」など患者さんの自尊心を低下させてしまう要因にもなります。

スプーンと箸どちらを使うか、どのシャツを着るかなど、自己決定ができるように働き掛けていきましょう。



## 5. きっかけづくりで、患者さんの今ある力を最大限に生かす

すべてを忘れているのではなく、体で覚えた記憶はちょっとしたきっかけで引き出すことができます。

箸の使い方が分からない場合など、そっと手に箸を添えてみることで、体で覚えた記憶を引き出せることもあります。





# 研修を終えて

岩手県立磐井病院 2 年次研修医

皆川 雅博

思い返してみればあっという間の初期研修だったと思います。この 2 年間で病院のスタッフと患者さんを初めとして多くの方と関わり、様々なことを経験して、学ばせて頂きました。この場をお借りして振り返ってみたいと思います。

一番成長できたと思う点は患者さんを目の前にして何かしら動けるようになったことかなと思います。研修始まったばかりのころは患者さんを目の前にしても何をしたらいいのか分からず、悩んで立ち尽くすことが多かったです。頭ではこの検査をしたいと考えても、余計な検査ではないのか、副作用が出たらどうしようとか常に怖がっていました。磐井病院の研修の特徴は外来や病棟、救急と幅広い場面で診療に主体的に参加できることだと考えています。また、指導医の先生と相談しながら研修医が患者さんの検査の予定や治療方針について検討し、多くの実戦経験を積むことができました。まだまだ足りないことも多いですが、症状と全身状態を評価して検査を進めていくという一連の流れをできるようになったのは自分の中で成長できたことかなと思います。

上記の内容とつながりますが、磐井病院の初期研修の特徴は地域の優しい人柄に支えられながら研修できることにあると思います。正直な話、思い返せば色々と失敗してきたなと思います。手際も悪く患者さんを待たせてしまったり、採血が上手くいかなくて何回も痛い思いをさせてしまった事もありました。数えだすときりがなく、その内容だけでこのページが埋まってしまうかもしれません。それだけ多くの失敗を重ねてきましたが、研修を無事に終えられたのは両磐地域の人柄が優しく、怒らずに接してくれたからだと思います。



どれだけすごい医師でも最初から失敗をせずに何でもできたという方はいないと思います。多くの失敗を積み重ねてすごい医師になったのだと研修を通して感じました。私も磐井病院の研修で学んだことやできるようになったことだけでなく、失敗経験も今後の医師人生に活かしていきたいと思います。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症が流行している特殊な状況の中で研修が始まりました。最初の 1 年間ではインフルエンザの患者に出会う事もなかったり、オンラインで学会発表を行ったり、以前とは全然違う環境だったと思います。そんな状況ではありましたが同期や後輩、指導医と一緒にご飯を食べたり、学会で福岡に行ったりと楽しいことも沢山ありました。充実した研修生活を送ることができ、磐井病院で研修を行えたことを嬉しく思います。これまで関わってきた全ての皆様、本当にありがとうございました。

この文章を書いていると最後の言葉みたいに見えますが、実は来年も居ます！

立派な消化器内科医になれるように精進を続けていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします！！

# 医療福祉相談室のご案内

病気や療養に伴う、身体的、精神的、社会的な問題について相談に応じています。

医療費・生活費  
が心配

病気について  
不安・心配がある

仕事について  
不安がある

医療・福祉の  
制度について  
聞きたい

退院後の  
生活が不安

福祉サービスや  
転院について  
聞きたい



患者さんやご家族が安心した生活を送れるように、一緒に状況を整理し、関係機関の皆さまと連携しながら、解決に向けた支援をさせて頂きたいと考えております。

また、がん相談支援センターとして、がん患者さんやそのご家族の相談窓口にもなっております。お困りごとがございましたら、ぜひ、医療相談室へご相談ください。

場所：1階患者支援センター内 時間：平日 8:30～17:15

## 患者紹介について

当院では、外来診療が予約制となっております。そのため、患者さんの紹介につきましては、予めFAXでの受診予約をお願いしております。（当日受診を希望される場合は、直接担当医師まで電話にてご相談ください。）出来る限り早めの回答を心掛けておりますが、診療スケジュール確認等のため、若干お時間をいただくことがありますので予めご了承ください。（急ぎの返信が必要な場合は、その旨をFAX用紙にご記入願います）大変勝手なお願いではございますが、今後ともスムーズな診療に協力の程宜しくお願い致します。

岩手県立磐井病院 紹介センター  
(FAX) 0191-21-3990 まで



## 岩手県立磐井病院

### 【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17  
電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691  
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

### 【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室  
病院ホームページ:<http://www.iwai-hp.com>  
公式 Facebook:<http://www.facebook.com/iwaihp>